

第4学年外国語活動学習指導案

日 時 令和7年11月27日(木)
 第5校時 13:30～14:15
 対 象 第4学年 1組 30名
 授業者 T1 山口 遥平
 T2 (ALT) 伊藤 摂子
 会 場 3階 4年1組教室

1 単元名 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう (3/4時間)

Let's Try! 2 Unit 8

2 単元の目標

- ◎教室名や教科名、道案内、自分が気に入っている場所を伝え合う活動を通して、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付き、道案内をしたり自分が気に入っている場所を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 [知識及び技能]
- 世界と日本の学校生活を比較して、共通点や相違点に気付くことができる。 [知識及び技能]
- 相手に配慮しながら、道案内したり自分が気に入っている場所を伝え合ったりすることができる。 [思考力、判断力、表現力等]
- 相手に伝わるように工夫しながら、道案内をしたり自分が気に入っている場所を伝え合ったりしようとしている。 [学びに向かう力、人間性等]

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 教室名や教科名、道案内などの英語の音声やリズムにおける日本語との違いについて理解している。 ② 相手の行きたいところについて、校内の教室名を表す語や、 Go straight. / Turn [right/left]. / Stop. を用いて、行き方を伝え合う技能を身に付けている。 ③ 世界と日本の学校生活を比較して、共通点や相違点について理解している。	① 相手が話している内容を確認しながら聞いたり、相手の理解を確認しながら話したりして、道案内や気に入っている場所について伝え合うことができる。	① 相手に自分が気に入っている場所を紹介するために、相手に配慮しながら、場所への行き方や教室名や教科名、自分の考えや気持ちなどを基本的な英語表現を用いて伝え合おうとしている。

4 単元について

(1) 学習指導要領上の位置付け

本単元は、学習指導要領の第3学年及び第4学年の2 内容（知識及び技能）(1)に基づく。

(1) 英語の特徴等に関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して、次の事項を体験的に身に付けることができるよう指導する。

ア 言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。

イ 日本と外国の言語や文化について理解すること。

(ア) 英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。

(イ) 日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、多様な考え方があることに気付くこと。

(ウ) 異なる文化をもつ人々との交流などを体験し、文化等に対する理解を深めること。

(2) 教材観

本単元では、校内のお気に入りの場所やその場所が好きな理由について、相手に伝わるように工夫しながら案内する活動を設定する。身近にある教室を具体的に案内することによって、外国語の語彙や表現の意味が理解できるようにする。また、実生活において道案内が行われる場合、案内する側は、相手に正確に伝えることを意識し、相手の理解をその都度確認しながら行う。一方で、案内される側は、自身の理解を確かめたり、理解していることを相手に示したりしながらコミュニケーションを図っている。

また、自分の学校のことを知った後、日本と世界の学校生活の比較から共通点、相違点を見付け、自分の学校だけではなく世界の学校も参考にしながら「いいな」と思う場所を簡単な語句を使って表現できるように単元計画を立てている。そこから自分たちの学校の良さを再確認する機会にもしたい。

今年度、1月に台湾から小学生数十名が本校を訪問する予定である。本単元で自分たちのお気に入りの場所を実際に校内で案内しながら紹介する活動を課外で計画しており、本単元で慣れ親しんだ表現を活用する場を設けることで、学習した表現を活用する必然性を生み出す場面設定を工夫している。本単元を通して、児童自ら「自分の思いを伝えたい」という気持ちを持ちながら主体的に学ぶことができるようにする。

なお、言語教材は以下の通りである。

表現 Go straight. / Turn right(left). / Stop. / This is our ～. / I like ～. / Where is ～.
(Who are you?) / This is my favorite place. / Why?

場所 music / science / arts and crafts / cooking / school nurse's office / classroom
principal's office / teacher's office / library / gym / playground / rooftop / entrance

【既出】

挨拶 Good [morning / afternoon / night]. / Hello. / How are you? / I'm～. / Thank you.

天気 How's the weather? / It's [sunny / rainy / cloudy / snowy].

曜日 Monday / Tuesday / Wednesday / Thursday / Friday / Saturday / Sunday

スポーツ soccer / basketball / baseball / volleyball / swimming / dodgeball

表現 Do you like～? / Yes, I do. / No, I don't. / What's this? / Sorry. / Try again.

5 児童について

目指す児童像（中学年）

友達と関わりながら、自分に合った学び方を工夫できる子

（1）児童観

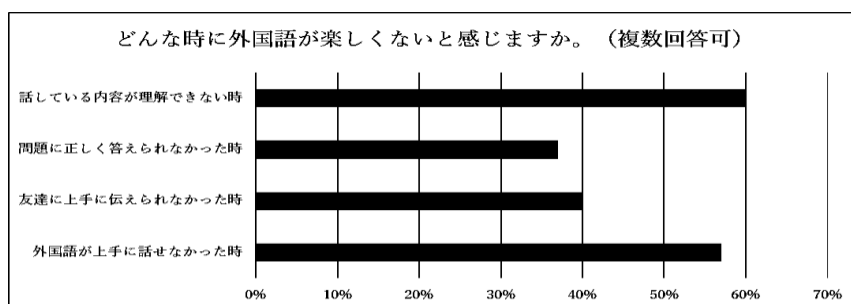
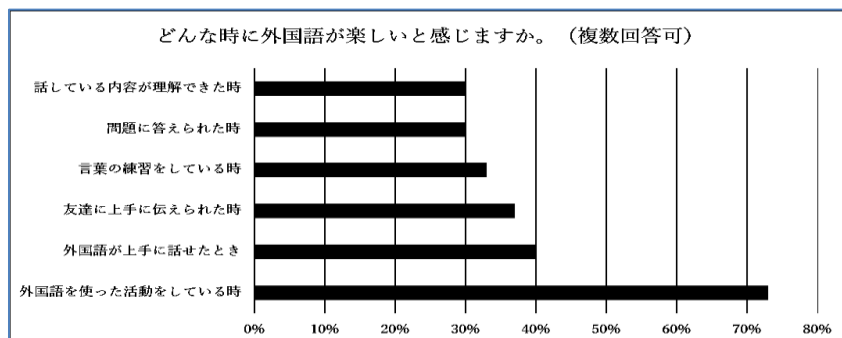
外国語活動アンケートの結果

（30名回答）から、「外国語の授業は楽しいですか。」「外国語は生活の中で必要だと感じますか。」「外国語を話せるようになってみたいですか。」といういずれの質問にも「はい」と答えた児童が全体の9割を占めており、外

国語活動の授業に対して肯定的な考えをもつ児童が多いと言える。楽しいと感じる理由としては、外国語を使った活動をしたり、覚えた言葉を使ってコミュニケーションが上手に取れたりした時に楽しいと感じる児童が7割と多かった。また、その他の項目にも3割以上の児童が楽しさを見いだしている。学級の実態としても、外国語を聞いたり話しかけられたりすることに対して、抵抗を感じる児童は全体的に少なく、自己紹介などの簡単な表現は自信をもって使うことができるようになってきている。

一方で、外国語活動に対して否定的な考えをもつ児童も一定数いることが明らかとなった。楽しくないと感じる理由としては、「話している内容が理解できない」「外国語が上手に話せなかった」と答える児童が半数

以上おり、その他の項目にも3割以上の児童が楽しくなかった経験として回答している。授業でも、ALTの話す内容が聞き取れなかったり、発音に自信がなかったりすることで発言をためらう姿や、積極的に話しかけようとしない様子も見られる。また、分からない単語に出会うと活動に十分に参加できない児童も一定数見られる。



（2）目指す児童の姿

（1）の実態から、言語活動を通して、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。

6 研究主題に迫るための手だて

個人間差異	想定される課題	本単元で行う手だて
到達度の違い	- 何を話しているのか分からず、参加できない。 - どこをやっているか	- イラストや写真を提示し、視覚支援することによって、表現を理解しやすくする。 - 毎時間の導入部分で、既習した学習の振り返りをすることによって、既習表現の定着を図り、発話への自信につ

	分からず、落ち着かない。	なげる。 ・声をかけたり、アイデアを与えたりすることによって、積極的に授業に参加できるようにする。 ・言葉の練習を繰り返し行い、発音できるようにする。 ・毎時間の授業の流れを基本的に同じにし、板書で示すことで見通しをもって活動ができるようにする。 ・活動の中で既出・新出の言語表現を繰り返し聞くことから始め、徐々に発声する機会を増やしていくことで楽しく参加できるようにする。
興味・関心の違い	・内容に興味がもてず、参加できない。	・児童の身近な題材を取り入れる。 ・タブレット端末を活用した活動やゲーム要素を取り入れた活動を行うことで、楽しく参加できるようにする。 ・相手意識をもつことで学習への意欲につながるよう、課外活動の時間（台湾交流）と活動をリンクさせる。

7 単元の指導計画と評価計画（8時間扱い）[: 個別最適な学び : 協働的な学び]
（課外4時間、外国語活動4時間）

時	◇目標 ○主な活動	◆指導上の留意点 手だて	【評価規準】 〈評価方法〉
課外	◇異文化交流について考える。 ○日本の小学校のことを伝えるために必要なことを考える。 →教室の名前	単元の構成 ◆外国語活動の学習につなげる。	
1	◇教室名や教科名の言い方に慣れ親しむ。道案内の表現の仕方に慣れ親しむ。 ○New words practice 新出単語の確認 ○Game time 教室カルタ ① 教室名のみ②Where is the～. Here. ○Let's Chant 教室名・教科名 ○This is my favorite place. の表現を知る。	学習の流れの固定化 ◆既出の言語教材の学習状況を確認する。 ◆活動は段階的に表現に慣れ親しむように組み立てる。 ◆教室や教科を表す表現を聞いて理解しているか学習状況を確認する。	【知・技】① 〈行動観察、振り返りシート〉
課外	◇台湾の学校との交流について考える。 ○交流するために必要なことを考える。 →校内を案内する。	単元の構成 ◆外国語活動の学習につなげる。	

2 	◇教室を案内する表現に慣れ親しみ、任意の場所を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○New words review 新出単語の復習 ○Game time 指示ゲーム Go straight. Turn right / left. / Stop. ○Let's Listen2 地図を見ながら、どの場所かを考える。 ○Game time2 場所を確認するために Kahoot を行う。 ○Let's Watch and Think2 世界の学校生活（デジタル教材）視聴	学習の流れの固定化 ◆場所に関する表現が多いため、イラストを表示することで理解を助ける。 ◆場所の表現に慣れ親しむよう、ゲームやクイズを取り入れる。 ICT ツールの活用 単元の構成	【知・技】② 〈行動観察〉 【知・技】③ 〈行動観察、振り返りシート〉
課外	◇台湾の友達に、学校生活を紹介する。 ○紹介動画で話す内容を決める。 ○動画の構成を決める。 ○役割分担をする。 ○伝えたい文章を英語で書く。	単元の構成 ◆外国語活動で学習していることを生かす。 ◆読めない児童は、自分で英文を聞いて、ワークシートにカタカナで読み方を書いておく。	
3 本時 	◇自分が気に入っている校内の場所を紹介する。 ○New words review 新出単語の確認 ○Quiz time 道案内ゲーム ○Let's play2 好きな場所を尋ねたり答えたりする。 学びの個別化・個性化 相手の理解度に 合わせて伝える ワークシートを活用して 伝える 友達と協力して 伝える	学習の流れの固定化 ◆英語表現が分かるように、英語カードを黒板に貼る。 ◆校内の見取り図が書かれたワークシートを用意し、それぞれの場で案内ができるようにする。	【思・判・表】 ①〈行動観察〉
課外	◇台湾の友達に、学校生活を紹介する。 ○各グループで動画を撮影する。 ○課題と成果を考え、第4時により良い動画を撮影できるようにする。	◆外国語活動での学習につなげる。	
4 	◇台湾の友達に自分たちの学校を紹介する。 ○Activity 課題をふまえて練習する。 グループで動画を撮影する。 動画を見せながら、発表する。	◆撮影した動画における英語表現の課題について振り返り、練習時間を設けることで自信をもって紹介できるようにする。	【態度】① 〈行動観察〉

8 本時（全4時間中の第3時）

（1）本時の目標

自分が気に入っている校内の場所を案内する。

（2）本時の展開 [: 個別最適な学び : 協働的な学び]

学習形態	○学習内容 ・ 学習活動	◆指導上の留意点、配慮事項 【評価規準】〈評価方法〉 手だて
導入 5分	○Greeting挨拶の英語表現に慣れ親しむ。 ・挨拶をする。 ・天気などの簡単なやり取りをする。 ○Today's goal本時のめあてを知る。 めあて 自分が気に入っている場所を案内しよう	◆担任⇄児童のやりとりを行うことで、様々な気持ちを伝えたり聞いたりすることができるようにする。 学習の流れの固定化
展開 35分	○New words review 道案内の表現や単語について身体的な動作を交えて確認をする。 ○Quiz time 道案内の英語表現に慣れ親しむ。 ・ここにいるのはだれでしょうクイズを行う。 校内マップを拡大して、児童の名前を各ブロックに貼る。 4-1からスタートして、止まったマスにいる児童は誰かを当てる。 ○Let's play2 道案内や児童のお気に入りの場所を伝える表現を活用し慣れ親しむ。 ・担任やALTによる道案内の表現を聞き、場所を当てる。 ・ペアで場所を案内する練習を行う。	◆校内マップは児童の手元にも用意し、指や具体物で辿ったり鉛筆でなぞったりできるようにする。 ◆ALTからクイズを2問出す。 1 問目→ALTの発音を聞く。 2 問目→ALTの後に続いて発音する。 ◆代表児童からクイズを1問出す。 ◆答え合わせの際、再度表現を聞きながら児童もALTの後に続いて発音し、表現に慣れ親しませる。また、拡大マップで辿るなど理解を確かめながら進めていく。 ◆指導者によるデモンストレーションで児童にI like ～.などの表現を確認する。
学びの個別化・個性化 相手の理解度に合わせて伝える ワークシートを活用して伝える 友達と協力して伝える ・クラスを2グループに分け、グループの中でペアの相手を変えながら伝え合う。 A : Let's start! Go straight and turn right / left. Stop. B : Music room? A : Yes! This is our music room. I like music. I play the piano. B : Very good! ※AB Change 発音が難しい児童 ◆ジェスチャーを活用させる。 ◆やり取りの様子を録画して振り返ることができるよう、教室の4箇所にタブレットを配置する。 ※学級を2つのグループに分け、担任とALTがそれぞれのグループを見取る。		

	前半終了後、活動のフィードバックを全体で共有し、互いのよいところや改善点を意識しながら後半の活動を再開する。	【思・判・表】①〈行動観察〉 英語表現の確認や、やり取りの際のジェスチャー、聞き直しや聞こえた言語の繰り返しをしているかを確認する。
終末 5分	○Looking back 本時の目標に対する振り返りをする。 ・振り返りカードに自己評価をする。 ○Closing 挨拶の英語表現に慣れ親しむ。 ・挨拶をする。	◆児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを賞賛する。 ◆評価項目を全体に聞いて挙手させることで、めあてや本時の活動について振り返る意識をもたせる。

(3) 本時の評価

評価規準	
相手の話している内容を確認めながら聞いたり、相手の理解を確認めながら話したりして、案内したり、気に入っている場所について伝え合ったりしている。	
本時で想定される児童の具体的な姿	具体的な支援方法
「十分満足できる」 相手の英語表現を聞いて英語で確認したり、スムーズに答えたりできる。相手に応じて繰り返し伝えたり動作を交えたりイラストを示したりしながら、慣れ親しんだ英語でやりとりしている。	お手本をするなど発表する機会を与え、よりスムーズに発音できるようにする。
「おおむね満足できる」 相手の英語表現を聞いて動作で示したり呟いたりしながら確認し、答えている。	一文ずつゆっくり示すことでイントネーションやアクセントを確認できるようにする。
「努力を要する」 相手が伝えようとしていることを理解しようと、英語表現を聞き取って動作で示したり、復唱したり日本語で話したりして確認しようとしなない。	練習タイムで教員が個別にアドバイスをしたり、説明の内容を動作化したりすることで、理解を促す。

(4) 板書計画

【授業の流れ】 Greeting November, 27 th , Thursday weather Today's goal 自分が気に入っている場所を案内しよう New words review Quiz time Let's play2 Looking back Closing	校舎内地図	A : Let's start! Go straight and turn right / left. Stop. B : Music room? A : Yes! This is our music room. I like music. I play the piano. B : Very good! ※AB Change
---	-------	--

Unit8 This is my favorite place.

振り返りカード

Name _____

date	/ () ①	super	good	soso
教科名や場所の名前がわかりましたか。		(^o^)	(^-^)	(._.)
感想				

date	/ () ②	super	good	soso
場所をしょうかいする言い方がわかりましたか。		(^o^)	(^-^)	(._.)
感想				

date	/ () ③	super	good	soso
お気に入りの場所を案内することができましたか。		(^o^)	(^-^)	(._.)
感想				

date	/ () ④	super	good	soso
相手に伝わるように工夫して、お気に入りの場所をしょうかいし合うことができましたか。		(^o^)	(^-^)	(._.)
感想				

お気に入りの場所

すきな理由



お気に入りの場所
をしょうかいする
ことができた。

道案内の言い方が
わかった。